

(様式2(1))

事業所名 グループホーム暖家

目標達成計画

作成日: 平成24 年7 月 26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	車椅子利用の方の気軽な外出が難しい現状。	事業所主催の行事等の検討、企画を試み、地域住民と交流の機会を持てるようにしたい。	踊りやカラオケなど、催し物を企画し、外部の方々をご招待し、交流の機会を作りたい。	6ヶ月
2	6	帰宅願望や、他のご利用者の居室に入り、トラブルが発生することがあるため、必要に応じ玄関、外窓、居室の戸を施錠することがあるが、ご利用者の安全確保のための手段となっている。	利用者の中には、外に出る機会が少ない人もいられるので、閉鎖感を少しでも軽減するための工夫を検討されることを期待したい。	職員は会議等で拘束についてお互い話し合い、学んでいるが、外に出る機会が少ないご利用者の生活を阻害しないで、みんなが安全・安心のできる施錠の仕方についてより具体的に職員間でより良い方法を見つけていく。	12ヶ月
3	13	今まで職員の研修会等への参加は少ない現状であるが、最近、城崎地区包括支援センター企画の「楽ちん介護法」の勉強会に介護職員4名、看護師1名が参加する。参加者は、「とても勉強になった」と好評でした。	今後、職員の内外研修を積極的に実施及び参加することにより、いままで以上に職員の資質の向上へと繋いで行きたい。	各関係機関からの研修等の案内に、業務をできる限り工面し、職員が参加できるような体制を築いて行きたい。また、ケースカンファレンスの回数も増やし、より専門性を高めたい。同時にケース記録簿の再確認や記録もしっかり行っていく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。